



TITLE:

# Full projections and automorphisms of stable algebras of unital $\mathcal{C}^*$ -algebras(Profound development of operator algebras)

AUTHOR(S):

小高, 一則

---

CITATION:

小高, 一則. Full projections and automorphisms of stable algebras of unital  $\mathcal{C}^*$ -algebras(Profound development of operator algebras). 数理解析研究所講究録 1998, 1024: 87-93

ISSUE DATE:

1998-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/61727>

RIGHT:

# Full projections and automorphisms of stable algebras of unital $C^*$ -algebras

琉球大学 理学部 小高一則 (Kazunori Kodaka)

## 0. はじめに

$A$  を unital  $C^*$ -環とし  $K$  を countably infinite dimensional Hilbert space 上の compact operators 全体がつくる  $C^*$ -環とする。 $Aut(A \otimes K)$  の元にはどのようなものがあるかということを考えると、 $\alpha \in Aut(A)$  として、 $\alpha \otimes id$  がある。また、 $w$  を  $A \otimes K$  の multiplier 環  $M(A \otimes K)$  の unitary として、 $Ad(w)$  を、任意の  $x \in A \otimes K$  に対して、 $Ad(w) = wxw^*$  と定義したときの  $Ad(w)$  (これを、 $A \otimes K$  の generalized inner automorphism という) が考えられる。上のもの以外にどのような automorphism があるか。というと、実際には、上のようなものの合成写像以外にはないような  $C^*$ -環もあれば、上のようなものの以外の automorphism がある  $C^*$ -環もある。

例 1.  $\theta \in [0, 1]$  を無理数とし  $A_\theta$  を  $\theta$  に対応する無理数回転  $C^*$ -環とする。

(1)  $\theta$  が 2 次の無理数でないときは、任意の  $\beta \in Aut(A_\theta \otimes K)$  は、 $\beta = Ad(w) \circ \alpha \otimes id$  という形に書ける。ここで、 $\alpha \in Aut(A_\theta)$ ,  $w \in M(A_\theta \otimes K)$  は unitary である。

(2)  $\theta$  が 2 次の無理数のとき、 $Ad(w) \circ \alpha \otimes id$  の形には、ならないような  $\beta \in Aut(A_\theta \otimes K)$  が存在する。

例 2.  $n$  を 2 以上の自然数とし、 $O_n$  を  $n$  に対応する Cuntz 環とする。

(1)  $n = 2, 3$  のとき、任意の  $\beta \in Aut(O_n \otimes K)$  は、 $\beta = Ad(w) \circ \alpha \otimes id$  という形にかけられる。ここで、 $\alpha \in Aut(O_n)$ ,  $w \in M(O_n \otimes K)$  は unitary である。

(2)  $n$  が素数でないとき、 $Ad(w) \circ \alpha \otimes id$  の形には、ならないような  $\beta \in Aut(O_n \otimes K)$  が存在する。

このようなことが起こる理由を知りたいため、以下のことを行う。

$A$  の automorphism の同値類の集合と、ある条件を満足する  $A \otimes K$  の projection

の同値類の集合とを考え、その間に bijection があることを示す。

### 1. 同値関係

$Int(A)$  を  $A$  の inner automorphisms の全体の集合、 $Int(A \otimes K)$  を  $A \otimes K$  の generalized inner automorphisms の全体の集合。更に、 $Out(A) = Aut(A)/Int(A)$ ,  $Out(A \otimes K) = Aut(A \otimes K)/Int(A \otimes K)$  とおく。

**Lemma 1.1.**  $Out(A)$  から  $Out(A \otimes K)$  への写像  $\Psi$  を  $\Psi([\alpha]) = [\alpha \otimes id]$  と定めると、 $\Psi$  は injective である。ここで、 $[\alpha]$  は、automorphism  $\alpha$  の属す類である。

上の Lemma 1.1 により  $Out(A)$  を  $Out(A \otimes K)$  の部分群と見なすことができる。 $Out(A \otimes K)$  の中に同値関係を、 $[\beta_1], [\beta_2] \in Out(A \otimes K)$  に対して、

$$[\beta_1] \sim [\beta_2] \iff \exists \alpha \in Aut(A) \text{ s.t. } [\beta_1] = [\beta_2][\alpha \otimes id]$$

と定義する。同値類を  $[[\beta]]$  で表わし、また、 $P = Out(A \otimes K)/\sim$  とする。

$K_0(A)$  と  $K_0(A \otimes K)$  とを同一視し、 $Aut(K_0(A))$  と  $Aut(K_0(A \otimes K))$  とを同じものと思う。 $Aut(A)$  から  $Aut(K_0(A))$  への写像  $T_A$  を、任意の  $\alpha \in Aut(A)$  に対して、 $T_A(\alpha) = \alpha_*$  と定義する。同様に、 $T_{A \otimes K}$  も定義する。 $range T_A$ ,  $range T_{A \otimes K}$  を  $T_A, T_{A \otimes K}$  の像とすると、上のことより  $range T_A$  は  $range T_{A \otimes K}$  の部分群になる。

**Proposition 1.2.**  $Out(A)$  が  $Out(A \otimes K)$  の正規部分群ならば、 $range T_A$  は  $range T_{A \otimes K}$  の正規部分群になる。 $A$  が、cancellation をもつか、あるいは、 $A$  が purely infinite simple unital  $C^*$ -algebra ならば、逆も成り立つ。

次に、 $A \otimes K$  の full projection  $p$  で  $p(A \otimes K)p \cong A$  となるものの全体を  $FP$  で表わす。ここで、projection  $p$  が full であるとは、 $(A \otimes K)p(A \otimes K)$  が  $A \otimes K$  で dense ということである。 $FP$  の中に同値関係を  $p, q \in FP$  に対

して、

$$p \sim q \iff \exists z \in A \otimes K \text{ s.t. } z^*z = p, \quad zz^* = q$$

で定義する。(p) で  $p$  の類を表わすものとする。

## 2. $FP/\sim$ から $\mathbf{P}$ への map

$p \in FP$  とすると、 $p(A \otimes K)p \cong A$ .  $\chi_p$  を  $A$  から  $p(A \otimes K)p$  の上への isomorphism とする。このとき、Brown の結果より、 $p$  に対して、

$$\exists z \in M(A \otimes K \otimes K) \text{ s.t. } p \otimes 1 = z^*z, \quad 1 \otimes 1 \otimes 1 = zz^*$$

$\psi$  を  $K \otimes K$  から  $K$  の上への isomorphism で  $K_0$  で identity とする。 $\beta(p, \chi_p)$  を

$$\beta(p, \chi_p) = id \otimes \psi \circ Ad(z) \circ \chi_p \otimes id$$

とおくと、 $\beta(p, \chi_p) \in Aut(A \otimes K)$  となる。

**Lemma 2.1.** (1)  $[\beta(p, \chi_p)] \in Out(A \otimes K)$  は、 $\psi, z$  の取り方によらない。

(2)  $[[\beta(p, \chi_p)]] \in \mathbf{P}$  は、 $\chi_p$  の取り方によらない。

上の Lemma 2.1 より  $[[\beta(p, \chi_p)]]$  は、 $\chi_p$  の取り方によらないので、 $\beta(p, \chi_p)$  を  $\beta_p$  で表わす。 $FP/\sim$  から  $\mathbf{P}$  への写像  $\mathcal{F}$  を、任意の  $p \in FP$  に対して、 $\mathcal{F}((p)) = [[\beta_p]]$  と定義する。

**Lemma 2.2.**  $\mathcal{F}$  は、well-defined である。

## 3. $\mathbf{P}$ から $FP/\sim$ への map

$\{e_{ij}\}$  を  $K$  の matrix units とする。 $1 \otimes e_{00} \in FP$  だから、任意の  $\beta \in Aut(A \otimes K)$  に対して、 $\beta(1 \otimes e_{00}) \in FP$  である。 $\mathbf{P}$  から  $FP/\sim$  への写像  $\mathcal{J}$  を、任意の  $\beta \in Aut(A \otimes K)$  に対して、 $\mathcal{J}([[ \beta ]]) = (\beta(1 \otimes e_{00}))$  とおく。このとき、 $\mathcal{J}$  は、well-defined である。

**Lemma 3.1.**  $\mathcal{J}$  は、*injective* である。

この Lemma は、次の Lemma によりすぐわかる。

**Lemma 3.2.**  $\beta \in \text{Aut}(A \otimes \mathbf{K})$  とし、 $(\beta(1 \otimes e_{00})) = (1 \otimes e_{00})$  とする。このとき、

$$\exists \alpha \in \text{Aut}(A), \quad \exists w \in M(A \otimes \mathbf{K}) \quad a \text{ unitary} \quad s.t. \quad \beta = \text{Ad}(w) \circ \alpha \otimes id$$

*Lemma 3.1* の証明.  $\beta_1, \beta_2 \in \text{Aut}(A \otimes \mathbf{K})$ ,  $\mathcal{J}([\beta_1]) = \mathcal{J}([\beta_2])$  であるとする  
と、 $(\beta_1(1 \otimes e_{00})) = (\beta_2(1 \otimes e_{00}))$ . 従って、 $((\beta_2^{-1} \circ \beta_1)(1 \otimes e_{00})) = (1 \otimes e_{00})$ .  
よって、Lemma 3.2 より、

$$\begin{aligned} \exists \alpha \in \text{Aut}(A) \quad \exists w \in M(A \otimes \mathbf{K}) \quad a \text{ unitary} \\ s.t. \quad \beta_2^{-1} \circ \beta_1 = \text{Ad}(w) \circ \alpha \otimes id \end{aligned}$$

よって、 $[\beta_1] = [\beta_2]$ . (証終)

**Lemma 3.3.** 任意の  $p \in FP$  に対して、 $(\mathcal{J} \circ \mathcal{F})(p) = (p)$  である。

この Lemma は、次の Lemma によりすぐわかる。

**Lemma 3.4.** 任意の  $n \in \mathbf{N}$  に対して、 $\exists v \in \mathbf{K}$  a partial isometry

$$\begin{aligned} s.t. \quad v^*v &= \sum_{j=-n}^n e_{jj}, \quad vv^* = \sum_{j=-n}^n \psi(e_{jj} \otimes e_{00}) \\ ve_{ij}v^* &= \psi(e_{ij} \otimes e_{00}) \quad i, j = -n, \dots, 0, \dots, n \end{aligned}$$

*Lemma 3.3* の証明.  $\mathcal{F}$  の定義より  $(\mathcal{J} \circ \mathcal{F})(p) = \mathcal{J}([\beta_p])$ . また、

$$\beta_p = id \otimes \psi \circ \text{Ad}(z) \circ \chi_p \otimes id$$

だから、

$$\begin{aligned}\beta_p(1 \otimes e_{00}) &= (id \otimes \psi \circ Ad(z) \circ \chi_p \otimes id)(1 \otimes e_{00}) \\ &= (id \otimes \psi \circ Ad(z))(p \otimes e_{00}) \\ &= (id \otimes \psi)(z(p \otimes e_{00})z^*)\end{aligned}$$

$id \otimes \psi$ を  $M(A \otimes K \otimes K)$  から  $M(A \otimes K)$  の上への isomorphism に拡張しておく、

$$\beta_p(1 \otimes e_{00}) = (id \otimes \psi)(z)(id \otimes \psi)(p \otimes e_{00})(id \otimes \psi)(z)^*$$

$\cup_{n=1}^{\infty} M_n(A)$  は、 $K$  で dense だから

$$\exists n \in \mathbb{N} \quad s.t. \quad p \in M_{2n+1}(A)$$

と思ってよい。  $p = \sum_{i,j=-n}^n a_{ij} \otimes e_{ij}$  とおくと、

$$(id \otimes \psi)(p \otimes e_{00}) = \sum_{i,j=-n}^n a_{ij} \otimes \psi(e_{ij} \otimes e_{00})$$

Lemma 3.4 より  $\exists v \in K$  a partial isometry

$$\begin{aligned}s.t. \quad v^*v &= \sum_{j=-n}^n e_{jj}, \quad vv^* = \sum_{j=-n}^n \psi(e_{jj} \otimes e_{00}) \\ ve_{ij}v^* &= \psi(e_{ij} \otimes e_{00}) \quad i, j = -n, \dots, 0, \dots, n\end{aligned}$$

このとき

$$(1 \otimes v)p(1 \otimes v)^* = \sum_{i,j=-n}^n a_{ij} \otimes \psi(e_{ij} \otimes e_{00}) = (id \otimes \psi)(p \otimes e_{00})$$

よって

$$\beta_p(1 \otimes e_{00}) = (id \otimes \psi)(z)(1 \otimes v)p(1 \otimes v)^*(id \otimes \psi)(z)^*$$

更に、

$$[p(1 \otimes v)^*(id \otimes \psi)(z)^*][p(1 \otimes v)^*(id \otimes \psi)(z)^*]^* = p$$

ゆえに  $(\beta_p(1 \otimes e_{00})) = (p)$ . (証終)

Lemma 3.1 と Lemma 3.3 より、

**Theorem 3.5.**  $\mathcal{J} : P \rightarrow FP/\sim$  は *bijection* で  $\mathcal{F}$  は  $\mathcal{J}$  の逆写像である。

上の Theorem 3.5 より

**Corollary 3.6.** 次の 2つの条件は同値。

- (1)  $\exists \beta \in \text{Aut}(A \otimes K)$  s.t.  $[\beta] \notin \text{Out}(A \otimes K)$ ,
- (2)  $\exists p \in A \otimes K$  a full projection s.t.

$$p(A \otimes K)p \cong A, \quad (p) \neq (1 \otimes e_{00})$$

**Corollary 3.7.**  $A$  が *cancellation* をもつか、あるいは *purely infinite simple unital  $C^*$ -algebra* とする。このとき、つぎの 2つの条件は同値。

- (1)  $\exists \beta \in \text{Aut}(A \otimes K)$  s.t.  $\beta_* \neq \alpha_*$  on  $K_0(A) \forall \alpha \in \text{Aut}(A)$ ,
- (2)  $\exists p \in A \otimes K$  a full projection s.t.

$$p(A \otimes K)p \cong A, \quad [p] = [1 \otimes e_{00}] \quad \text{in } K_0(A \otimes K)$$

#### 4. 応用

(1)  $\theta$  を 2 次の無理数とし、 $A_\theta$  を無理数回転  $C^*$ -環とする。 $A_\theta$  は、*cancellation* をもち  $\text{range } T_{A_\theta} = \{1\}$  なので、 $FP/\sim$  は group になる。 $p(A_\theta \otimes K)p \cong A_\theta$  となる full projection  $p$  をさがす。 $\tau$  を  $A_\theta$  の trace とし、 $M_n(A_\theta)$  に正規化せずに拡張しておく。 $\tau(p) = a + b\theta$  とすると、Rieffel の結果により、互いに素な整数  $a, b$  で  $\frac{c+d\theta}{a+b\theta} = \theta$  かつ  $a + b\theta > 0$  となる  $a, b$  の組を探せばよいということになる。これを行うと、 $FP/\sim \cong \mathbb{Z}$  であることがわかる。従って、 $\text{Out}(A \otimes K)/\text{Out}(A) \cong \mathbb{Z}$ .

(2)  $\theta$  を無理数とする。

$$uv = e^{2\pi\theta}vu, \quad wv = vw, \quad uw = vwu$$

という関係式を満たす unitaries  $u, v, w$  により生成される universal  $C^*$ -algebra を  $H_\theta$  とする。 $H_\theta$  は、class 2 の Heisenberg  $C^*$ -algebra と呼ばれている。Packer の結果により  $H_\theta$  には

$$p(H_\theta \otimes K)p \cong H_\theta, \quad [p] \neq [1 \otimes e_{00}] \quad \text{in } K_0(H_\theta \otimes K)$$

となる projection  $p \in H_\theta \otimes K$  が存在することがわかる。また、 $H_\theta$  は cancellation をもつこともわかるので、

$$\exists \beta \in \text{Aut}(H_\theta \otimes K) \quad \text{s.t.} \quad \beta_* \neq \alpha_* \quad \text{on } K_0(H_\theta) \quad \forall \alpha \in \text{Aut}(H_\theta)$$

#### 参考文献

- [1] B. Blackadar, *K-theory for operator theory*, M. S. R. I. Publications, Springer-Verlag, 1986.
- [2] L. G. Brown, *Stable isomorphism of hereditary subalgebras of  $C^*$ -algebras*, Pacific J. Math., **71** (1977), 335-348.
- [3] L. G. Brown, P. Green and M. A. Rieffel, *Stable isomorphism and strong Morita equivalence of  $C^*$ -algebras*, Pacific J. Math., **71** (1977), 349-363.
- [4] R. C. Busby, *Double centralizers and extensions of  $C^*$ -algebras*, Trans. Amer. Math. Soc., **132** (1968), 79-99.
- [5] J. A. Mingo, *K-theory and multipliers of stable  $C^*$ -algebras*, Trans. Amer. Math. Soc., **299** (1987), 397-411.
- [6] J. Packer,  *$C^*$ -algebras generated by projective representations of the discrete Heisenberg group*, J. Operator Theory, **18** (1987), 41-66.
- [7] J. Packer, *Strong Morita equivalence for Heisenberg  $C^*$ -algebras and the positive cones of their  $K_0$ -groups*, Canad. J. Math., **40** (1988), 833-864.
- [8] M. A. Rieffel,  *$C^*$ -algebras associated with irrational rotations*, Pacific J. Math., **93** (1981), 415-429.
- [9] M. A. Rieffel, *The cancellation theorem for projective modules over irrational rotation  $C^*$ -algebras*, Proc. London Math., **47** (1983), 285-302.